

中町中学校だより 丘山通信



多可町立中町中学校
令和6年4月10日(水)発行
<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>
電話 32-0009 文責：校長 神崎

1 ごあいさつ

学校長 神崎進吾



学校の花々が芽吹き、新たな希望と期待が膨らむ季節、中町中学校に、新しい春が訪れました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、平素より本校教育に温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、校長として着任しました神崎進吾と申します。この歴史と伝統ある中町中学校に勤務できることに大きな喜びを感じております。それと同時に、中学校という人生の土台を築く思春期の大切な3年間の教育を担う責任の重さ、そして何より、206名の大切なお子様の命を預かるその責任の重さに、身が引き締まる思いです。

さて、いよいよ71名の新入生を迎え、令和6年度がスタートしました。「自主・共励・責任」の校訓のもと「優しく、賢く、逞しく ～未来を切り拓く生徒の育成～ 凡事徹底(時を守り、場を清め、礼を正す)」を学校経営方針として、一人ひとりが大切にされ、一人ひとりの良さが輝く中町中学校を目指し、教職員一同、心を一つにして取り組んでまいります。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

精一杯努めてまいります。至らぬこともあろうかと存じます。お子様のことで心配なこと、お気づきのことがございましたら、遠慮なくご相談、連絡をいただければ大変ありがたいです。皆様には大変、お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

この中町中学校だより『丘山通信』は、月の初めに発行いたします。ご家庭と学校をつなぐ架け橋として、その充実に努めたいと思います。返信欄等を利用し、忌憚のないご意見をお聞かせいただき、紙面を通して意見交流する中で、教育の充実につながればと思っています。よろしくお願いいたします。

また、学校のHP(ホームページ)につきましては、原則、毎日更新し、その日の学校生活の様子を随時お知らせいたします。是非ご覧ください。

※HPにつきましては、検索エンジンで「中町中学校」で検索いただくか、
上記URL、もしくは右記QRコードからアクセスしてください。



2 学校経営方針

本年度の「学校経営方針」を学校HP(ホームページ)にアップしていますので、ご覧ください。
「構造図」「一覧表」「目指す教師像」の3部で構成しています。それぞれ、次の内容です。

○学校経営方針「構造図」

今年度の学校経営方針を「構造図」で示したものです。「いのちと人権を守る教育～人権教育を土台とした教育活動の推進～」の取組を根幹として、一人ひとりの生徒を人として尊重し、自立に向けて、生きる力(知・徳・体)を鍛え育ててまいります。目指す生徒像として、「優しい人・賢い人・逞しい人」を具体的に記述しています。

○学校経営方針「一覧表」

今年度の学校経営方針とその達成に向けての具体的な取組・努力目標を、0～5の6つの柱で示しています。0の「いのちと人権を守る教育～人権教育を土台とした教育活動の推進～」は、すべての

取組の土台となるものであり、本校教育の一番の柱として、あえて1ではなく、0（ゼロ）と標記しています。

○学校経営方針「目指す教師像」

「教育は人なり」とよく言われます。子どもを成長させていくためには、教師が資質・指導力の向上を図らなければなりません。学校経営方針の達成に向けて、本校の教職員に対する心構えとして、「プロとしての自覚と誇りを持つ教職員」を掲げ、次の4つの目指す教師像を示しています。（1）「授業で勝負する教師」（2）「子どもと共に歩む教師」（3）「子どもの模範となる教師」（4）「チームで取り組む教師」。詳しくはHPをご覧ください。

3 職員の異動について

転出等職員…大変お世話になりました。 **転入等職員**…よろしくお願いします。



4 職員紹介 一年間いろいろとお世話になります。よろしくお願いします。

5 令和6年度入学式

4月9日（火）、前夜は春の嵐となり心配しましたが、朝には雨も上がり、晴れ間も時折顔を出す天気となりました。そんな中、新入生71名を迎え、令和6年度の入学式を行いました。1年生は新しいブレザーの制服に身を包み、厳粛な雰囲気の中、少し緊張しながらもこれから始まる中学校生活



に期待と希望を抱いている様子が伝わってきました。学校長式辞では、新入生の心に留めておいてほしい言葉として、「Respect Others」の話がありました。Eさんの力強い新入生宣誓も見事でした。その後、本校の生徒会副会長のTさんによる「歓迎の言葉」では、「行事を通して仲間と絆を深めよう」「勉強も普段から集中して授業を受ければ大丈夫」「気分が乗らないとき、調子が良くないときも、その日の100%を出そう」と、新入生に温かいエールを送ってくれました。新入生代表のYさんによる「誓いの言葉」では、「一度しかない中学校生活を悔いのないものにするために多くのことを学び経験し、何事も全力で取り組んでいこうと思う」「たくさんのお出迎えを大切に、仲間との絆を深め、この三年間で、最高の思い出を作っていきたい」と語ってくれました。全校生206名、「自主、共励、責任」の校訓のもと、みんなで力を合わせ、誰も学校生活を楽しいと感じ、誇りに思える中町中学校を創っていきましょう。



6 入学式式辞（抜粋）

～「Respect Others」を心に留めて～



さて、学校生活を充実したものにするために最も大切なものは、と聞かれるとみなさんは何と答えますか。私は「仲間」だと答えます。「友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする」といいます。さらに、かけがえのない「仲間」がいれば困難なことも乗り越えていけるものです。今日の入学を機に新しい出会いがたくさんあります。ぜひ、新しい「仲間」をたくさん作ってほしいと思います。そこで、良き「仲間」を作るために、是非とも皆さんの心に留めておいてほしいと思う言葉を一つ紹介します。

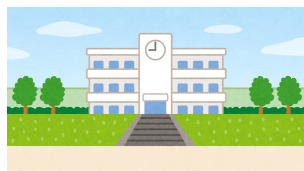
それは、アメリカでよく使われている、「Respect Others」という言葉です。「リスペクトアザース」と読みます。これはアメリカの学校で、先生がよく生徒に対して諭したり叱ったりする時によく使う言葉です。「Respect」とは「尊敬する」「大切に思う」という意味です。そして「Others」とは「自分以外の人」という意味です。そして「Respect Others」で「他の人のことを尊重しなさい」ということになります。

アメリカの学校には、肌の色も髪の毛の色も違う様々な人種の人と一緒に学んでいます。どこの国でも同じだと思いますが、集団生活が始まると、誰かが意地悪をしたとか、誰かが誰かに悪口を言ったとか、いわゆる人間関係のトラブルが起こってきます。そんな心ない言動があったとき、先生たちは必ず「Respect Others」と言い、子どもたちに反省を促します。「Respect」の意味もはっきりわからない幼い子どもの頃から、ことあるごとに繰り返しこのことを叩き込まれます。「意地悪しないで、みんな仲良くしなさい」とか、「いじめはダメ」といったその時々行動を注意されるのではなく、「あなたの今のその言葉や行動は、本当に友達を大切にしているといえるのか」と、その本質を厳しく問われるのです。



集団で生活する学校には、いろいろな人がいます。例えば、体が大きな人もいれば小さな人もいます。運動が得意な人もいれば、勉強が得意な人もいます。人前で話すことが得意な人もいれば、一人で静かに過ごすことが好きな人もいます。また、見た目で分かるだけでなく、その内面ももちろん違います。自分とは性格が違う人や、考え方やものの受け取り方、感じ方が違う人がいます。しかし、それが当たり前のことです。様々な特性・特徴のある人達で成り立っているのが学校であり、社会です。

だからこそ、たとえ何かが不得意であつたり、上手にできなくても、その人が一生懸命やろうとしているのなら、その人を責めたりバカにしたりせず、「Respect」して応援してほしいのです。また、その人が他の人と異なる個性や考え方を持っていたとしても、その人をのけ者にしたりせず、「Respect」して応援してほしいのです。その人の立場になって考えること。そうすることが「Respect Others」の第一歩になります。



中学3年間、この「Respect Others」を心にとめ、学校生活を送ることができるように、熱い想いを持って先生たち全員で応援していきます。そして、様々な良さを発

揮できる場と機会を用意していきます。ともに中学校生活を大いに楽しみましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の中学校へのご入学、誠におめでとうございます。中学校という、人生の土台を築く大切な三年間の教育を預かる責任の重さ、そして、何より七十一名のお子様の大切な命を預かるその責任の重さに、身が引き締まる思いです。

中学生は、大人への第一歩を踏み出す大切な時期です。この三年間で、周りが驚くほど、肉体的にも精神的にも逞しく成長します。また、生徒同士の人間関係も、表面的なものからより深いものになり、切磋琢磨しながら成長していきます。

さらにこの時期は多感な時期であり、ちょっとしたことでトラブルを起こしたり、自信を失ったりと、精神的に不安定になりがちな時期でもあります。人間は様々な困難や失敗を乗り越えて成長するものであり、我々大人の責務は、こうした生徒の成長の過程を見守り適切な支援を行うことだと思っています。

学校は生徒の学びの場であり、教育機関です。教師は教育の専門家であります。しかし、個々のお子さんを一番よく知り、その子にとっての最大の教育者はそれぞれのご家庭です。家庭教育の重要性と、生徒の心の安定を支える家庭の大切さについては、ここで語るまでもありません。集団を計画的に教育する学校と一人のお子さんを教育するご家庭とが、同じ方向を向き、協力し合うことが、生徒個々の成長には欠かせません。私たち教職員一同、全力をあげて、責任を持ってお子様を育ててまいります。ぜひ、学校と家庭とが連携・協力し、一人一人のお子様の成長のために力をあわせていきましょう。至らぬこともあるかと存じますが、ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。



7 学校からのお知らせとお願い

(1) 交通安全について

命と体を守るため、自転車による登下校については、常日頃から指導の徹底に努めています。下記の点について、ご家庭でも注意、指導をよろしくお願いいたします。

- ヘルメット・安全タスキの着用 ○ 一列励行 ○ 指定した通学路による登下校
- 交差点等での一旦停止 ○ 右折・左折時の交通状況の確認 ○ 二人乗りの禁止

※ ヘルメットの着用は、昨年4月より道路交通法の改正により努力義務化されています。

※特に新入生の皆さんは、カバンをゴムひもがゆるみのない状態でしっかりと荷台にくくりつけてください。ゴムひもがゆるんで外れ、後輪に絡まってしまうという事例が、毎年新学期のこの時期に起こっています。

※自転車通学をするにあたり、ご家庭より「自転車使用許可願」をご提出いただき、学校が許可をするという形をとっております。許可条件は以下の7点です。許可条件を守らなかった場合は、やむを得ず、自転車通学の一時停止や許可を取り消す場合もあります。生徒の命と体を守るための措置ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 交通法規を遵守する。 2. 自転車損害賠償保険等に参加する。
3. 中学校で決められた自転車通学のルールを守る。
4. 改造、装飾、シール貼り、ペイント塗り等をしない。
5. 自転車の点検、整備に心掛け、不良箇所があればすぐに修理する。
6. その他、交通安全について最善の注意、努力をする。
7. 先生、保護者、生徒会、交通指導員、警察、地域の人たちから注意や指導があれば、素直に受け入れる、

※自転車事故というと、被害者という意識がありますが、近年、自転車側が加害者になって賠償責任が問われる事故が増えています。数千万円の賠償命令が出た例もあります。兵庫県では全国で初めて、自転車事故に備える保険への加入を自転車利用者に義務付けました。本校でも、自転車保険への加入を自転車通学許可の条件に入れています。



(2) 写真等の掲載について

中町中学校では、この学校通信「丘山通信」をはじめとする通信物の発行やＨＰ（ホームページ）を通じて情報提供に努めています。分かりやすく、魅力ある内容にするため写真(画像)を掲載します。ＨＰの写真は、遠方や後方から撮影したものを使用する等、個人が限定されないよう配慮していきませんが、お子様の写真(画像)の掲載を許可されない方は、お手数をおかけいたしますが、４月１９日(金)までに、学級担任または教頭までご連絡をお願いします。

(3) 留守番電話と緊急時の連絡先について

教職員の働き方改革の趣旨を踏まえ、業務軽減の取組として、夜間から早朝、休日等の勤務時間外の電話につきまして留守番電話(音声ガイダンスのみ、録音機能なし)による対応を導入しています。留守番電話対応の時間帯は次のとおりです。緊急の際には多可町教育委員会または役場に連絡をお願いします。多可町教育委員会の電話番号は、３２－２３９５、役場の電話番号は３２－２３８０です。ご理解とご協力のほどよろしく願います。



- ３月１日～９月末まで・・・１８：３０～翌日７：１５
- １０月１日～２月末まで・・・１８：００～翌日７：１５
- ※休日等・・・・・・・・・・終日
- ※長期休業期間の平日・・・・１６：４０～翌日８：１０

(4) 定時退勤日・ノー部活動デーについて

本年度も、原則毎週火曜日を職員の「定時退勤日」並びに部活のない日「ノー部活動デー」といたします。ただし、部活動中の生徒の安全確保のため、会議等の都合により「ノー部活動デー」については、別の日に設定することもあります。その際は、事前にお知らせいたします。

(5) テストに係る追試験について

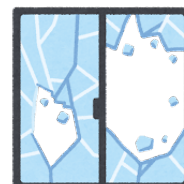
本校では、定期テストや長期休業明けの課題テスト、年数回の実力テスト等のテストを実施いたします。テストの受験は、試験日当日が原則ですが、体調不良等によりやむを得ず受験できなかった場合の追試験の扱いは、以下のとおりいたします。



- ・体調不良等の場合・・・・原則、試験実施日より３日以内に受験する
※参考点扱いとなります
- ・出席停止の場合・・・・原則、出席停止終了後、受験する

(6) 多可町教育委員会の学校園施設破損に係る営繕措置について

学校では物を大切にすることを日々の活動の中で指導しております。自分の持ち物はもちろんですが、友だちの物、公共の物を大事にする事の積み重ねが豊かな心を育み、他者を思いやる行動のできる生徒の育成につながると考えております。しかし、生徒が成長する過程においては過ちもあります。その一つの例としてガラスの破損などがあります。故意にガラスを割った、ふざけて暴れていてガラスを割ったなど、その場所でそうした行為をするとガラスや物が壊れるかもしれないのに、十分に考えずにそのような行為で物を破損したときは、行為を十分反省させるとともに、この過ちを今後に生かすために、多可町教育委員会の方針の下で修理代をいただくこととしております。もちろん全ての場合において修理代を



いただくわけではありません。本人やその場にいた生徒から破損した状況をよく聞いた上で、多可町教育委員会が示す下記の措置に照らし合わせて、保護者の方に連絡させていただきます。過ちが今後に生かされるように、また物や人を大切にする心を育てるために、こうした措置をとってまいります。ご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

生徒・児童・園児等が学校園の施設や備品の一部または全部を壊したときは、下記のように措置する。

- A 不可抗力（過失）で壊れた場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・学校全額負担
 - B 故意や不注意、ふざけたりして壊した場合・・・・・・・・・・個人全額負担
 - C その他（A・Bに当たらない場合や年齢に応じた判断力を考慮する場合）・・・協議
- ※学校園で協議した上で学校園と保護者の負担割合を決定する。

（７）読書週間について

４月１５日（月）～１９日（金）を「読書週間」とし、朝学習の時間を活用して、朝の読書に取り組めます。スマホやタブレットの普及により、生徒たちも以前に比べてめっきりと本を手にする機会が減っています。本は「心の栄養」であり、小中学校時代の読書習慣は、学力にも人格形成にも大きな影響を与えていると言われています。ぜひ、この機会に家庭でもスマホを置いて、読書に励むきっかけにいただければと思います。お手数ですが、お子さまの読書用の本の準備をお願いいたします。また、図書室でも本の貸し出しを行っていますので、ご利用ください。



８ 部活動の現状と合同チームの編成について



多可町立中学校では、町教育委員会が定める「多可町中学校部活動ガイドライン」に従って、部活動の運営を行っています。部活動は、学校教育の一環として行われ、生徒がスポーツや文化・科学などの分野で主体的な活動を通して、それぞれの個性や能力を伸ばしたり、仲間と切磋琢磨しながら励ましたり協力したりする中で、社会性や人間性を育む最も身近な活動の一つとして成果をあげています。

しかし、近年、本校でも生徒数の減少に伴い、部員数の減少、部活動を担当する教職員の数の減少という二つの課題が出てきています。すべての生徒が自分のやりたい部活動に参加することができるのが理想ではありますが、なかなか厳しいのが現状です。また、本校の教職員も子育て世代が多く、家庭の事情により土日の指導が難しい教員も増えており、指導者の確保が課題となっています。この課題は、本校だけでなく町内の中学校全てに関わる問題でもあります。現在、町教育委員会が主体となり部活動担当者会を開催し、以下の方針を打ち出しています。どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

○部活動は教育課程上位置づけられているものではないが、教育課程外の教育活動として、学習指導要領に位置づけられている。これまで中学校において部活動の担ってきた教育的価値は大きく、生徒、保護者の部活動に対する期待も大きい。そこで、中学校の統合も見据えて、原則、現存する各校の部は廃部にせず、３中学校で部員数が足りない部がある場合は、町内の中学校同士で合同チームを編成する。（Ｒ４．４～）

※中町中の部員数が足りない場合だけでなく、中町中の部員数が足りていても、他の町内の中学校の部員が足りずチームが組めない場合、合同チームを編成して大会に出場します。

（現在、野球部、サッカー部が多可町内３校で合同チームを編成しています。）



また、現在、多可町では部活動の地域展開も徐々に進んでおり、この春から卓球とバスケットボールの２種目が、地域クラブとして発足する予定です。活動内容等の詳細につきましては、後日、多可町教育委員会から配布される予定の地域クラブの募集チラシをご覧ください。

4・5月の行事予定

GT=がんばりタイム、NBD=ノー部活デー、
SC=スクールカウンセラー来校

日	曜	4 月	日	曜	5 月
1	月	春季休業日、いのちと人権の日	1	水	いのちと人権の日、SC(予定)
2	火	春季休業日	2	木	
3	水	春季休業日	3	金	憲法記念日
4	木	春季休業日	4	土	みどりの日
5	金	春季休業日	5	日	こどもの日
6	土	春季休業日	6	月	振替休業日
7	日		7	火	NBD、GT
8	月	着任式・始業式	8	水	SC(予定)
9	火	入学式、NBD	9	木	耳鼻科健診
10	水	離任式、2・3年生給食開始、SC 2・3年生進級テスト、 学年費引き落とし日	10	金	学年費引き落とし日 、生徒総会
11	木	1年生給食開始	11	土	
12	金		12	日	
13	土		13	月	教育実習(～5/31)
14	日		14	火	NBD、GT、職員会議
15	月	読書週間(～4/19)、学年集会	15	水	SC(予定)
16	火	NBD、地区生徒会、職員会議	16	木	
17	水		17	金	
18	木	3年生全国学力・学習状況調査(国数・質問紙)	18	土	
19	金	3年生修学旅行説明会	19	日	3年生修学旅行(東京方面)
20	土		20	月	3年生修学旅行(東京方面)
21	日		21	火	3年生修学旅行(東京方面)NBD、GT
22	月	交通安全教室	22	水	3年生振替休業日、SC(予定)
23	火	NBD、GT、PTA理事会	23	木	尿検査、1年生合同野外活動
24	水	遠足(要弁当)	24	金	尿検査
25	木		25	土	
26	金	創立記念日、眼科健診	26	日	
27	土	参観日(要弁当)	27	月	
28	日		28	火	NBD、GT、内科健診
29	月		29	水	内科健診、SC(予定)
30	火	振替休業日	30	火	
			31	水	1年生わくわくオーケストラ

キ リ ト リ 線

《第1号(4月)返信欄》

年 組 番 氏名()の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉 (掲載可 どちらでも 掲載不可)